DENON

スピーカーシステム

SC-CX303

取扱説明書

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

総目次

ご使用になる前に

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

接続コード ……2本 （コードの長さ：約3m）	吸音スポンジ ……2個
すべり止め（1シート 8枚）……1個	バナナプラグ ……4個

取扱説明書（本書）……1冊
製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表 ……1枚
保証書【梱包箱に添付】

ステレオ音のエチケット



- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

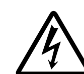


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

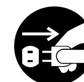
【絵表示の例】



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

❏ 安全上お守りいただきたいこと

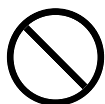
万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く


電源プラグを
コンセント
から抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

水が入ったり、濡らしたりしないように



雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない



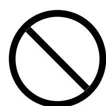
バスレフダクト孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まずアンプの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

キャビネット（スピーカー）を外したり、改造したりしない

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損した場合は



まずアンプの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

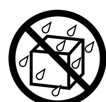
❏ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない


水場での
使用禁止

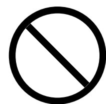
火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない



こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない



万一内部に異物が入った場合は、まず本機と接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

《ご使用になる前に》

⚠ 注意

❏ 安全上お守りいただきたいこと

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する



アンプを接続する場合は、アンプの電源を切り、取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

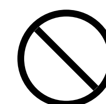
電源を入れる前には音量を最小にする



突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

❏ 置き場所について

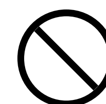
次のような場所には置かない



火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

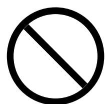
不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

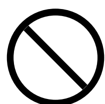
❑ 取り扱いについて

長時間音が歪んだ状態で使用しない



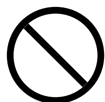
本機が発熱し、火災の原因となることがあります。

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない



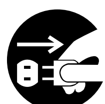
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

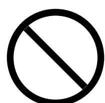


機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は



まずアンプの電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

❑ お手入れについて

5年に一度は内部の掃除を



販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

取り扱い上のご注意

設置の際のご注意

スピーカーの音質は、部屋の大きさ・形態（洋室、和室）・設置のしかたなどの影響を受けやすいため、設置については次のことにご注意ください。

- 本機を直接床に設置すると低音が不自然に強調される場合があります。そのときはコンクリートブロックなどの固い台の上に設置してください。
- 本機を棚の上や部屋のコーナーに設置すると、低音が強調される場合があります。そのときは、背面のバスレフダクト孔に、付属の吸音スポンジを入れて、低音を調節してください。

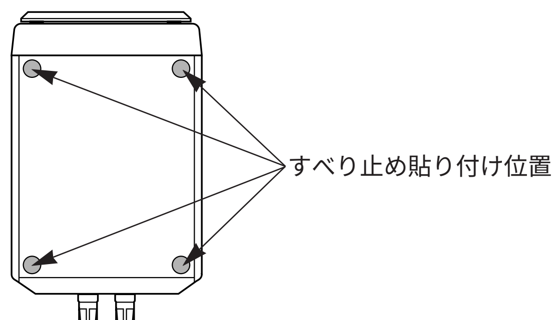
ご注意



- 吸音スポンジを深く挿入しないでください。本体内部に落下して取り出せなくなることがあります。
- 吸音スポンジが取り出せなくなったり、本体内部へ落下した場合は、すぐに本機のご使用をやめ、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。

- 本機をレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置するとハウリングを起こすことがありますので、ご注意ください。
- 本機の近くに磁石もしくは磁石を備えた家具や器具などが置かれている場合、本機との相互作用により、テレビに色むらを発生させる場合がありますのでご注意ください。
- より安全のために本機を設置する際は、付属のすべり止め（4枚）を下図のように本機の底面に貼り付けてください。

【底面図】





警　告

接続コードを足や手に引っ掛けて本機を落下させることのないように、接続コードは必ず壁などに固定してください。

外観仕上げについて

本機のキャビネットの表面には天然木材から作られた部材を使用しています。そのために色や柄は自然のままであり、他にひとつとして同じ色柄のものはありません。塗装や最終仕上げでは当社の厳しい品質基準で管理しておりますので、ご安心してご使用ください。

お手入れのしかた

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。
  ※ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

その他のご注意

- アンプにはいろいろなスピーカー出力端子があります。お使いになるアンプの取扱説明書で確認してください。
- アンプの音量を極端に大きくして歪んだ音のまま再生することは、アンプやスピーカーにとってダメージになる場合があります。適正な音量でお楽しみください。
- 本機を移動させる場合、サランネット越しにスピーカー部表面に強い力を加えると、スピーカーを破損させてしまうことがありますので、ご注意ください。



- 本書に使用しているイラストは取り扱い方法を説明するためのもので、実物と異なる場合があります。

接続のしかた

接続の際はアンプの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- スピーカー背面の入力端子とアンプのスピーカー出力端子を付属の接続コードで接続します。
- 左チャンネルのスピーカーはアンプのＬ端子へ、右チャンネルのスピーカーはアンプのＲ端子へ、極性（+、−）を確認して接続します。

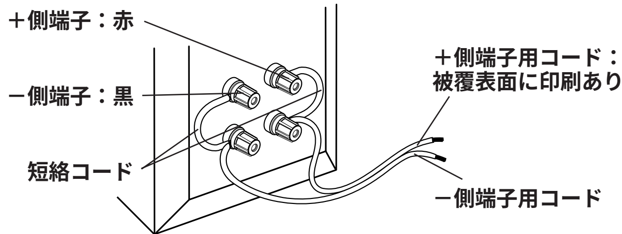


- 接続が終わったら、短絡コードがすべての端子（ウーハー側およびツィーター側の+と+、−と−）に確実に接続されているか確認をしてください。

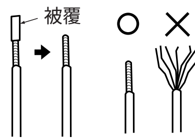
ご注意

- スピーカーをアンプに接続する場合は、必ずアンプの電源を切ってからおこなってください。
- 極性を間違えると、位相が変わったり低音域のない不自然な再生音になります。正しく接続してください。

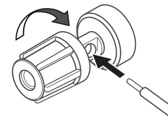
通常の接続のしかた



1. 接続コードの先端の被覆をはずし、指でしっかりよじります。



2. 端子をゆるめ、接続コードを端子の穴に差し込み、端子を右に回して締めつけます。



3. 接続していない端子も右に回して、短絡コードを締めつけます。



- 接続が終わったら、スピーカーコードを軽く引っ張り、確実に接続されているか確認をしてください。
- 接続コードを端子へ接続する際、付属のバナナプラグを使用することもできます。

ご注意

スピーカーコードの芯線どうしを接触させないでください。アンプの回路がショートし、故障の原因になります。

バイワイヤリング接続のしかた

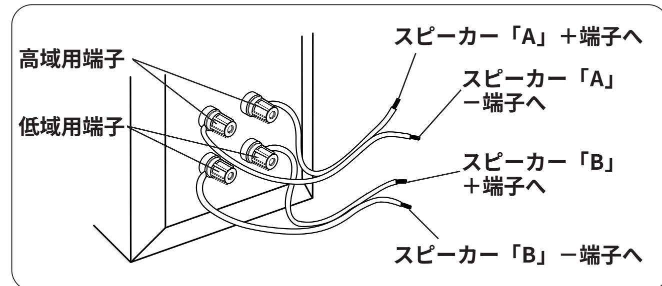
本機の入力端子および回路は、高域用（上段）と低域用（下段）が分離独立しているバイワイヤリング接続対応方式です。そのため、高域と低域のレベル差から生じる音声信号の干渉を受けることなく、より高音質な再生をお楽しみいただくことができます。

※ **本機1台につき2本の接続コードをご用意ください。**

※ **すべての端子をゆるめ、+、 −側の短絡コードをはずします。**

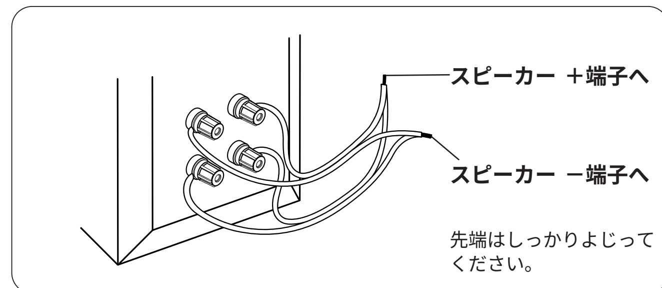
❑ スピーカー出力を2系統（A+B）持つアンプとの接続

- スピーカー出力切り替えスイッチを「A＋B」にします。



❑ スピーカー出力が1系統のみのアンプとの接続

- 出力が2系統あっても、AとBを同時に出力できないアンプや、2つの系統が直列接続になるアンプもこの方法で接続してください。



先端はしっかりよじってください。



- バイワイヤリングでご使用の場合も、本機のインピーダンスは変わりません。
- さらに発展した楽しみかたとして、アンプを2台お持ちの場合には、バイアンプ駆動ができます。その場合は、2台のアンプの出力レベルを同じにしてください。

ご注意

アンプの出力レベルが異なると、高音または低音のみが強調され、最良の音質バランスが得られない場合があります。

その他について

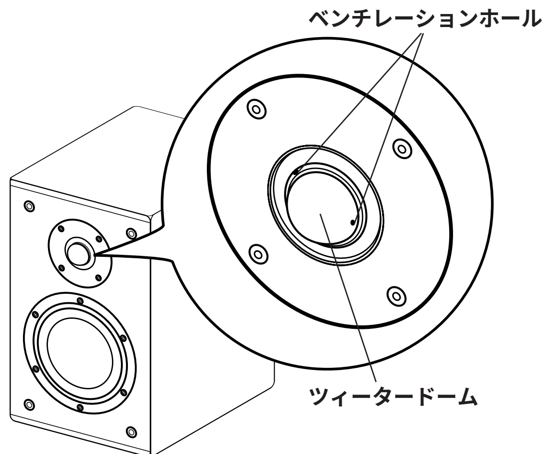
サランネットのはずしかた

- スピーカー前面のサランネットは、取り外すことができます。
- 取り外すときは、サランネットの両側を持って手前に引いてください。
- 取り付けるときは、サランネットの突起とキャビネットの穴部を合わせて押し込んでください。

ベンチレーションホールについて

ツィータードーム内のエアーの熱膨張による振動板の変型を防ぐため、ツィータードームとエッジにベンチレーションホール（通気孔）を2ケ所設けています。

※ **穴は破損ではありません。**



保証とサービスについて

1. この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。
※ 修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3. 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4. 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6. この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7. 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※ 当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

主な仕様

❏ **形式：**	2ウェイ・2スピーカー 防磁設計、バスレフ型
❏ **再生周波数域：**	35Hz～60kHz
❏ **入力インピーダンス：**	6Ω
❏ **最大許容入力：**	100W（JEITA）、200W（PEAK）
❏ **平均出力音圧レベル：**	86dB（1W・1m）
❏ **クロスオーバー周波数：**	3kHz
❏ **スピーカーユニット：**	ウーハー （13cmコーン形×1） ツィーター （2.5cmソフトドーム形×1）
❏ **寸法：**	幅　：　182mm 高さ　：　296mm 奥行き　：　293mm （サランネット、入力端子を含む）
❏ **質量：**	8.7kg（1台当り）

※ JEITA：（社）電子情報技術産業協会が制定した規格です。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。



株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購　入　店　名：	電話（　　　-　　　-　　　）
ご購入年月日：　　　　年　　　月　　　日	

Printed in China　00D 511 4577 000